

事業評価シート

担当課・室長：研究調査室長

| | |
|----------|---|
| 事業名 | IPCC 評価報告書作成の支援 |
| 上位施策名 | 地球温暖化対策 |
| 1 事業の概要 | <p>気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は、地球温暖化問題に関する科学的知見を「評価報告書」として取りまとめ、地球温暖化防止の政府間交渉の進展に大きく貢献してきている。</p> <p>IPCC 評価報告書は、各国の専門家の貢献があってはじめて作成可能なものであり、したがって我が国としては、我が国の持つ高度な科学的知見を十分に活用し、国際社会の中で相応しい役割を果たすべく、同報告書の作成に積極的に参加する必要がある。</p> <p>本事業は、IPCC 評価報告書の作成に関して、先進国として拠出金を拠出するとともに、国内検討会を開催して、報告書の執筆に貢献していくとともに、我が国の立場から IPCC 評価報告書の作成に関して検討・分析を行うものである。</p> |
| 2 進捗状況 | <p>平成 13 年 4 月に、IPCC 第 3 次評価報告書第 1～第 3 作業部会報告書が完成した。さらに、これら報告に共通する横断的な科学的問題点を整理し、政策決定者に必要な科学的情報をわかりやすく提供する統合報告書を同年 9 月に公表した。</p> <p>平成 14 年度は、IPCC 第 4 次評価報告書について、2007 年初めの公表に向けて、作業スケジュールの策定、報告書の構成の検討を行う。</p> |
| 3 評価 | <p>我が国のもつ科学的知見が反映された IPCC 第 3 次評価報告書が完成したことにより、現時点における的確な地球温暖化の将来予測と影響、適応策等が示され、今後の我が国の温暖化対策に活かすことが可能となった。しかしながら、米国等に比べると我が国からの貢献は未だ十分とは言えず、今後とも、最新の知見の整理・分析等を着実にを行い、第 4 次評価報告書の作成に積極的に参画することにより、我が国の持つ高度な科学的知見を十分に活用し、国際社会の中で相応しい役割を果たすことが必要である。</p> |
| 4 予算事項名 | <ul style="list-style-type: none"> ・ IPCC 第 3 次・第 4 次評価報告書作成支援調査費 ・ IPCC 第 4 次評価報告書作成支援調査費 ・ 気候変動に関する政府間パネル(IPCC)拠出金 ・ 排出吸収量世界標準算定方式確立事業拠出金 ・ 森林等の吸収源対策国内体制整備確立調査 ・ 地球温暖化の影響と適応戦略に関する統合調査費 ・ 中長期的温暖化対策対応戦略策定調査費 |
| 5 対応副施策等 | |